

## 令和7年度 第6回コンクリート常任委員会

### 議事録（案）

日 時：2026年3月25日（水）14時00分～15時45分

場 所：ハイブリッド会議（土木学会講堂）

出席者：岸委員長、半井幹事長、

新、綾野、石関、石田（征）、岩城、上野、河合、草野、小林、坂井、佐藤、下村、高橋、田所、津吉、  
鶴田、永元、松尾、宮里、山本の各常任委員

浦野、岡崎、白根、三木、渡辺の各常任委員兼幹事

佐々木（事務局）

#### 配布資料：

資料 6-0 令和7年度 第6回コンクリート常任委員会 議事次第

資料 6-1 令和7年度第5回常任委員会議事録（案）

資料 6-2 土木学会 コンクリート委員会 102 規準関連小委員会委員構成

資料 6-3 コンクリート標準示方書に基づく数値解析認証小委員会（227）の委員構成（案）

資料 6-4 溶融スラグ細骨材を用いたコンクリートの設計・施工研究小委員会の委員構成（案）

資料 6-5 土木学会コンクリート委員会 第3種研究小委員会（第2期）設置提案書

資料 6-6 コンクリート委員会に常設の小委員会の委員等の再任手続きに関する内規（20260325 案）

資料 6-7 2種委員会の委員会番号について

資料 6-8 委員会ホームページの更新保守サポートに関する見積書・注文書

資料 6-9 2025年度コンクリート委員会主催行事の記録

資料 6-10 2025年度予算執行状況

資料 6-11 令和8（2026）年度 重点研究課題（研究助成金）の選考結果について

資料 6-12 令和8年度全国大会研究討論会企画について

資料 6-13 土木学会コンクリート標準示方書 販売冊数や定価、講習会について（2012年度～2024年度）

資料 6-14 2026年度の常任委員会の日程（案）

#### 議 事：

##### 1. 委員長挨拶（岸）

岸委員長より、常任委員会の開催にあたり挨拶があった。内容は以下の通りである。

本日の審議事項として、全国大会における研究討論会の企画案、そして4月から活動を開始する予定の第2種委員会の委員構成についてご審議いただきたい。示方書改訂小委員会での検討は精力的に進められており、来年度の常任委員会では、奇数回に活動報告が行われる予定である。

##### 2. 令和7年度第5回常任委員会議事録（案）の承認（浦野）【資料 5-1】

浦野幹事より前回議事録案が読み上げられ、修正なく、承認された。

##### 3. その他

特になし。

#### 審議事項：

##### 1. 第1種委員会について

（1）規準関連小委員会（102）の委員構成（岸）【資料 6-2】

岸委員長より、委員変更となることが提案され、承認された。

##### 2. 第2種委員会について

（1）コンクリート標準示方書に基づく数値解析認証小委員会（227）の委員構成（岸）【資料 6-3】

岸委員長より、委員構成について説明がなされ、承認された。

説明では、本小委員会は、技術推進機構に技術評価依頼があった際に委員を追加して対応することとしており、これまでは委員長および幹事長のみの構成としていた経緯について補足があった。

(2) 溶融スラグ細骨材を用いたコンクリートの設計・施工研究小委員会の委員構成（岸）【資料 6-4】

岸委員長より、委員構成について提案され、承認された。

説明では、本委員会の設置は、11 月の常任委員会および 1 月の理事会にて承認済であるが、本日、構成案について審議に付すものである旨、補足があった。

3. 第3種委員会について

(1) 地震作用に対するコンクリート構造物の時空間性能評価委員会（366）（第2期）の設置（半井）【資料6-5】

半井幹事長より、366 委員会（第 2 期）の設置の提案書について説明があった。審議の結果、異議なく承認された。

4. その他

(1) 常設小委員会の委員等の再任手続きについて（半井）【資料 6-6】

半井幹事長より、常設の小委員会の委員等の再任手続きに関する内規を設けることについて説明があり、提案の通り、承認された。

- ・ 内規の主な内容は、以下の通り。
  - ・ 常設の小委員会の委員等には必ず委嘱状を発行し、活動中の委員を明確にする。
  - ・ 委員等の任期は 1 期 2 年を原則とし、再任を妨げない。
  - ・ すべての委員の任期終了は同日とし、年度単位（4 月 1 日～3 月 31 日）の任期としたい。
  - ・ 年度初の第 1 回の常任委員会にて、1 種～3 種の活動中の全ての小委員会の委員構成を確認し、任期の切れ目となる常設の小委員会については、委員等を再任することを審議する。

(2) 2 種委員会の委員会番号について（半井）【資料 6-7】

半井幹事長より、資料 6-7 について説明があり、審議の結果、次回の常任委員会で改めて審議することとなった。

(3) 委員会ホームページの更新保守サポートについて（三木）【資料 6-8】

三木幹事より、資料 6-8 について説明があり、異議なく承認された。

報告事項：

1. 講習会、成果報告会の開催報告

(1) 地震作用に対するコンクリート構造物の時空間性能評価委員会(366)の成果報告会（坂口 366 幹事長）【資料なし】

坂口氏（366 委員会幹事長）より、成果報告会の概要についてスライドを用いて報告があった。

(2) コンクリート構造物の品質確保・長寿命化対策検討小委員会（235）成果報告会（半井）【資料なし】

半井幹事長より、3 月 5 日に「NATM トンネル覆工コンクリート技術確保における課題と対策」をテーマとした講習会を完全オンライン形式で開催した旨の報告があった。

- ・ 本講習会はコンクリート委員会からの提案による 2 種の特別委員会として、参加費無料で実施した。参加者は 278 名であり、各地方整備局からも参加があった。

(3) コンクリートの打込みに関わる品質の定量的評価に関する研究小委員会（368 委員会）成果報告会（半井）【資料なし】

半井幹事長より、368 委員会について 3 月 11 日にハイブリッド形式で成果報告会を開催した旨の報告があった。

2. 土木学会事務局からの報告

(1) 2025 年度コンクリート委員会主催行事の記録（半井）【資料 6-9】

半井幹事長より、資料 6-9 に基づき、2025 年度のコンクリート委員会主催行事の開催状況や収支状況、コンクリートライブラリ、コンクリート技術シリーズの発刊状況について報告があった。

(2) 2025 年度予算執行状況（半井）【資料 6-10】

半井幹事長より、資料 6-10 に基づき、2025 年度の予算執行状況について報告があった。

3. その他

(1) 2026 年度「重点研究課題（研究助成金）」の採択課題について（半井）【資料 6-11】

半井幹事長より、2026 年度「重点研究課題（研究助成金）」の採択課題について報告があった。

(2) 令和 8 年度全国大会研究討論会企画について（岸）【資料 6-12】

岸委員長より、令和 8 年度全国大会研究討論会企画について説明があった。

- ・ 主題は「生コンクリートの“呼び強度”という規格名称の変更について考える」としている。
- ・ JIS A 5308（1978 年制定）では、第一条件「予備強度の 85% を 1 回の試験で下回らないこと」、第二条件「3 回の平均値が呼び強度を下回らないこと」、の 2 条件で構成されている。呼び強度が下限値ではなく設計で用いる特性値（設計基準強度）となっている点から、利用者に混乱を生じさせる要因となっていると考えている。これを踏まえ、鉄筋の呼称と同様に、コンクリートの規格名称を、第一条件の下限基準値に変更する考え方について議論する企画である。
- ・ 資料 6-12 には、本企画の趣旨を補足する内容として、岸委員長の論説（土木学会誌 2 月号）を含めている。

また、岸委員長より、応用力学委員会より研究討論会「インフラのデジタルツイン技術の展望—AI 時代の到来を踏まえて—」について協力委員会となることの依頼があり、これを受諾したとの説明があった。

(3) コンクリート標準示方書の販売状況等について（半井）【資料 6-13】

半井幹事長より、資料 6-13 に基づき、コンクリート標準示方書の販売状況、価格推移、講習会開催状況等について報告があった。

(4) 2026 年度の常任委員会の日程（案）（半井）【資料 6-14】

半井幹事長より、資料 6-14 に基づき、次年度の常任委員会（年 6 回）および幹事会（常任委員会の約 1 週間前）の開催日程案について説明があった。

次回常任委員会開催：

日時：5 月 27 日（水）14：00～17：00 Web＋土木学会のハイブリッド会議

議題：幹事長宛 5 月 19 日（火）までに

以上